



TITLE:

昭和51年度基研長期研究計画「配位相転移の研究」拡大世話人会

AUTHOR(S):

CITATION:

昭和51年度基研長期研究計画「配位相転移の研究」拡大世話人会. 物性研究 1976, 27(2): B1-B2

ISSUE DATE:

1976-11-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89238>

RIGHT:

昭和 51 年度基研長期研究計画
「配位相転移の研究」拡大世話人会

この計画の一環として 7 月 19 日から 21 日までの 3 日間、求是荘で拡大世話人会を開きました。この会の目的は研究成果の発表ではなく、本当はどんな問題に挑戦する必要があるのか、また種々のアプローチはどんな将来性と限界をもっているのか、といった議論をすることです。討論のテーマは本誌 5 月号 (26 巻 2 号) に掲載された昨年度の研究会報告にもありますが、

- 1) 固液転移は他の相転移とどう違うのか。
- 2) 固相の把え方の問題点は何か。
- 3) 液相の把え方の問題点は何か。
- 4) 界面・微粒子・核生成のような不均質状態、ガラス状態のような非平衡状態や準安定状態の問題、ダイナミックスの問題。
- 5) 共役結合物質や量子系の問題。
- 6) 計算機実験の課題は何か。

という問題です。

会の目的がどこまで叶えられたかは判りませんが、質疑討論の記録も掲載致します。記録をとって下さった上羽牧夫 (名大理), 内藤豊昭 (東大教養), 本田勝也 (名工大) の諸氏に感謝致します。

また多数の参加申込みを頂き、全ての方に参加して頂くことができなかった点、紙上を借りてお詫び申し上げます。

世話人	上	田	顕 (京大工)
	小	川	泰 (京大理)
	樋	渡 保	秋 (金大理)
	吉	田	健 (九大理)
	和	達 三	樹 (東教大光研)

1. 「配位相転移」の問題点	小川 泰	3
2. 融解の理論に対する種々の見方	戸田 盛和	6
3. 物質状態の秩序について	松田 博嗣	10
4. “ 流れる固体 ” について	上羽 牧夫	14
5. 固相への転移からみた液相のとらえ方	大川 章哉	21
6. 非晶質金属構造のモデル	二宮 敏行	27
7. 液相の不安定性	吉田 健	32
8. 金属微粒子の構造と熱振動	紀本 和男	35
9. 核生成とスピノーダル分解における問題点	横田 良助	43
10. 不活性気体の液体はガラス状態になりうるか？ ...	樋渡 保秋	49
11. 配位相転移におけるコロイド学的手法について ...	蓮 精	53
12. 非平衡状態分子力学	内藤豊昭, 小野 周...	61
13. 全体討論		65